



Cambodia

ホット・スポット：カンボジアの海

～透明度は抜群、ビーチは独り占め～

株式会社 サイトラベルサービス

世界遺産・アンコール遺跡群で知られるカンボジアには、その遺跡を一目見ようと世界各国から多くの観光客が訪れます。しかし今、欧米系の観光客を中心に「カンボジアの海」が人気沸騰中です。

巾着を逆さまにしたような国土のカンボジア。その南部地域は、タイ湾の方向に海岸線が開けています。この海岸線南東部のカンボット付近を南限に古代遺跡は見られず、100年ほど前までは稀に漁村集落が見られるだけの未踏の熱帯雨林地帯でした。そのような背景もあり、今もなお、この地は手付かずの自然があちこちに残る、まさに自然の宝庫ともいえる場所です。



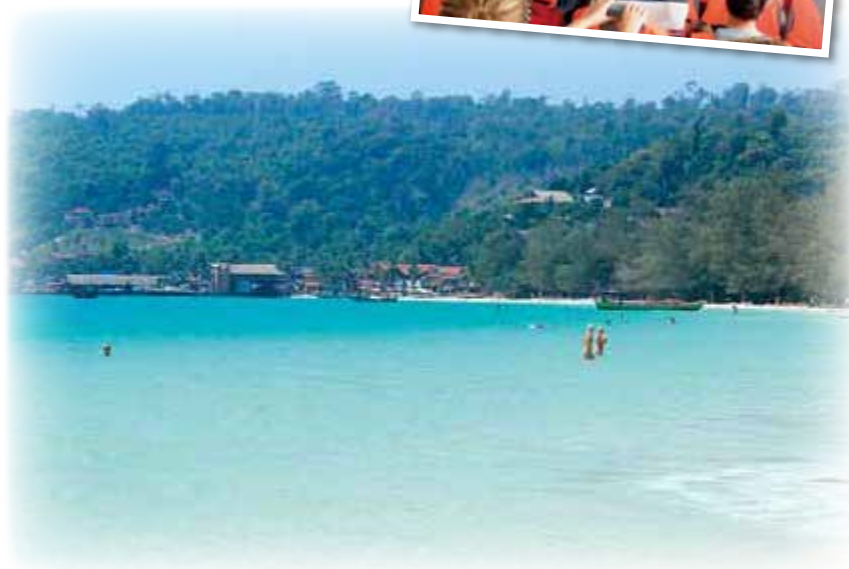
スピードボート発着桟橋



スピードボート内



100人乗りのスピードボート



中でも唯一の外港・シハヌークビル沖の列島は近年、欧米系観光客のホット・スポットとなっています。列島の中継点でもあるロン島 (Koh Rong Island) には、現在2社の渡航船が1日各3便 (計6便) 運航しており、所要時間は約45分、朝便の発着桟橋は、連日観光客で大混雑です。以前は漁船を代用していたために約2時間かかっていたところ、今では一隻100人乗りのスピードボートが就航し、交通の便も時代と共に様変わりしています。

一方、定期航空便 (週3便) を使うと、シハヌークビルへはシェムリアップから1時間弱で到着。首都プノンペンからは車で約4時間、その日のうちに島のビーチに立つことが可能です。



中継地のロン島はカンボジアで2番目の大きさと、その面積は香港島とほぼ同じ。周囲は珊瑚礁に囲まれ、海の透明度は高く、シュノーケリングやダイビングスポットも無数に存在します。濃緑の熱帯雨林に縁どられた白砂のビーチはこの島だけで23ヵ所もあり、中には7kmも続くビーチも。また定期船の栈橋からわずか徒歩20分のところには、2kmを超えるロングセットビーチも存在します。



ロン島のビーチに立つと、まるで無人島に上陸したかのような独り占め感が味わえる…この特別感が人々をロン島に引き寄せているといえるでしょう。多彩な海のリゾートシーンが展開されるここロン島では、穏やかな海ならばこそ可能なカヤックでのビーチ巡り、島のジャングルトレッキングを経て無人のビーチを訪れるツアーなどが人気を集めています。

ところでこのビーチ、弓なりに砂州が発達したもので、その内には外海から隔てられた潟湖(ラグーン)も見られます。潟湖を囲むマングローブ林や明るい熱帯性林草地は希少動植物の宝庫でもあります。

渡航船の栈橋周辺の集落は、ここ1~2年の間に軒並み宿泊施設に衣替えし、その周囲には個性的なバンガローが立地するようになりました。宿泊はドミトリーから樹上、ビーチ際のバンガローと多彩で、若年層からファミリーまでそれぞれのニーズに応じられるのが特徴です。そして夜ともなればビーチが道代わりとなり、ポップなパブストリートと化すほど賑わいを見せています。



カンボジアの島が熱い!と注目を集めて早4年、今やシハヌークビル沖の島々は欧米人観光客の熱気で沸騰中です。